

平成27年度

事業報告

自 平成27年4月 1日  
至 平成28年3月31日

公益社団法人京都染織文化協会

# 平成27年度 事業報告

## 1. 会員の加入及び退会

	期首	加入	退会	期末
会員数	48	1	2	47

加入商社：ウイルビー(株)

退会商社：(有)寿光織本舗、第一衣料(株)京都店

## 2. 会務

### ■第67期通常総会

平成27年 5月26日	京都ブライトンホテル	<ol style="list-style-type: none"> <li>平成26年度事業報告承認の件</li> <li>平成26年度決算報告承認の件</li> <li>平成27年度事業計画(案)承認の件</li> <li>平成27年度収支予算(案)承認の件</li> <li>役員改選の件</li> <li>その他</li> </ol>
----------------	------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ■理事会

平成27年 4月17日	書面決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>平成26年度事業報告並びに収支決算報告の件</li> <li>その他</li> </ol>
----------------	------	--------------------------------------------------------------------------------------

6月17日	書面決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>理事長、副理事長及び常務理事の選任について</li> <li>その他</li> </ol>
-------	------	--------------------------------------------------------------------------------------

7月21日	書面決議	<ol style="list-style-type: none"> <li>KPA 京都プリント振興協会主催『メイキング・ワークショップ2016』に対する当協会の共催名義使用許可並びに助成金(50万円)の交付承認について</li> <li>その他</li> </ol>
-------	------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成28年 3月7日	京都産業会館 5階会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>平成28年度事業計画(案)の件</li> <li>平成28年度収支予算(案)の件</li> <li>代表・業務執行理事の職務執行報告</li> <li>事務所移転に伴う所在地変更の件</li> <li>第68期通常総会の件</li> <li>その他(「日本衣装絵巻」開催報告)</li> </ol>
---------------	-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3. 実施事業

#### ■公益事業

##### (1) 染織文化資源の保全と啓発事業

当協会が基本財産に位置付ける「染織祭衣装」と「全国染織産地合同制作布地」を保全するとともに、これら所蔵資料にみる染織技術の公開や資料そのものの一般公開により一般社会に伝える知識普及啓発を目的とし、下記事業に取り組んだ。

##### \* 「染織祭」の詳細調査並びに公開

衣装制作の背景となった昭和6～15年に執り行われた染織祭について北野裕子氏（龍谷大学社会科学研究所客員研究員）に調査を依頼し、今年度も引き続き昭和15年（染織祭中止）～26年（織協引き渡し）までの染織祭衣装の状況についての資料調査を行った。染織祭並びに染織祭衣装の調査成果は当協会ウェブサイト並びにインターネット上で展開するフリー百科事典『Wikipedia』に追加掲載して一般社会に啓発するとともに、去る5/16～17開催の「第16回服飾文化学会大会」（於：大妻女子大学千代田キャンパス）で発表して全国の染織研究者に広く啓発した。（継続事業）

##### \* 染織祭関係史料のデジタル保存と保全

染織祭の記録や軌跡を保全するために、当協会が保管する染織祭関係史料をデジタル保存するとともに、劣化を防ぐ目的で中性紙箱を用いての保管に移行した。（継続事業）

<今年度作業>

- ・祭事史料「染織祭記録」（昭和6年）ほか2冊
- ・規約・組織等史料「染織講社規約並施行細則」（昭和6年）ほか2冊
- ・時代衣装・衣装行列史料「衣装行列担当組合並行列順位」（昭和8年）ほか3冊
- ・会議・庶務等史料「会議」（昭和14年）ほか9冊

##### \* 染織祭衣装の画像撮影とデジタル保存

当協会ウェブサイト上にて紹介している染織祭衣装169点の画像を撮影し、デジタル保存して画像貸付協力に随時対応できる体制を整えた。

<撮影衣装>

上古時代（着装）	16点	奈良時代（着装）	19点
平安時代	14点	鎌倉時代	35点
室町時代	18点	桃山時代	24点

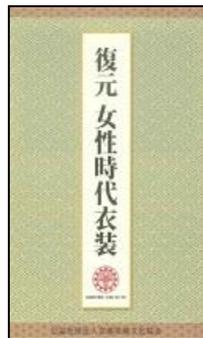
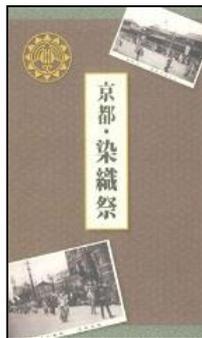
江戸時代 43点

< 撮影依頼先 >

尚永堂 (京都市東山区)

\* 「染織祭」パンフレットの配布

染織祭調査の成果として染織祭の軌跡ならびに染織祭衣装の詳細をまとめたパンフレットを当協会主催展覧会で配布して染織祭並びに染織祭衣装の啓発を行った。



\* 染織技術アーカイブの作成並びに公開

所蔵資料に使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容を当協会ウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏めて公開する目的で、染織祭衣装は北川満哉氏 (学芸員)、全国染織産地合同制作布地は福井健二氏 (染織専門家) に調査、解説を依頼し、今年度は次の通り公開した。

(新規公開内容)

「染織衣装」 / 平安時代衣装 35 領

公開技術 なし

「全国染織産地合同制作布地」 / 1999 年春・夏物向布地 7 点

公開技術 「織る」 ……二重織、メッシュ

「装飾」 ……金加工



## \* 染織祭衣装の補修・修繕

当協会が設定している「傷みの5段階評価」に基づき、今年度は次の通り補修を行った。(継続事業)

<対象衣装>

平安時代衣装 1・7・12・19号「裃」 4点

<依頼先>

松下装束店(京都市中京区)

## \* 染織祭衣装に関する展覧会

染織祭衣装を通して日本の染織文化並びに染織技術の継承と啓発を目的に、次の通り展覧会を実施した。

### ◎ 「復元でみる女物時代衣装展」

会 期 7月2日(木)～16日(木) 10:00～17:00 ※最終日 15:00迄

会 場 文化学園大学コスチュームギャラリー(東京都渋谷区)

主 催 当協会並びに文化学園大学和装文化研究所

入 場 料 無料

内 容 古墳～江戸時代後期までの衣装を上着から下着・帯まで各パーツ毎に展示し、時代衣装の変遷を入場者に啓発した。

出 品 数 古墳～江戸時代後期までの8時代衣装 各2領

入場者数 606名

### ◎ 「色彩と文様展」

(東京展)

会 期 7月20日(月・祝)～25日(土) 10:00～17:00 ※最終日 16:00迄

会 場 文化クイントサロン(東京都渋谷区)

主 催 当協会並びに文化学園大学和装文化研究所

内 容 衣装展示を通して、日本の伝統的な色彩美と多彩な文様の奥深さを入場者に啓発した。

出 品 数 古墳～江戸時代後期までの8時代衣装 34領

入 場 料 無料

入場者数 321名

(京都展)

会 期 8月1日(土)～30日(日) 10:00～17:00 ※最終日 16:00迄

会 場 京都伝統産業ふれあい館ギャラリー（京都市左京区）  
主 催 当協会並びに京都伝統産業交流センター  
共 催 京都市  
内 容 衣装展示を通して、日本の伝統的な色彩美と多彩な文様の奥深さを入  
場者に啓発した。  
出 品 数 鎌倉～江戸時代までの4時代衣装 18領  
入 場 料 無料  
入場者数 ※自由観覧

◎「日本衣装絵巻—卑弥呼から篤姫の時代まで—」

会 期 10月17日（土）～平成28年1月12日（火）  
会 場 神戸ファッション美術館（神戸市東灘区）  
主 催 神戸ファッション美術館  
共 催 （公社）京都染織文化協会  
後 援 KissFM KOB E、京都新聞、織研新聞  
内 容 京都四大祭と謳われながらわずか20年で幕を閉じた染織祭を当時の史  
料によって回顧し、女性復元時代衣装行列で実際に使われた衣装や道  
具類を展示して染織大国・京都を入場者に啓発した。  
出 品 数 古墳～江戸時代後期までの8時代衣装100領、道具・史料 46点  
入 場 料 一般500円、小中高65歳以上250円（きもの姿の方無料）  
入場者数 9,288名

※「日本衣装絵巻—卑弥呼から篤姫の時代まで—」図録制作と配布

上記展覧会に伴い、染織祭並びに衣装の啓発を目的に神戸ファッション美術館と共  
同で図録を制作し、会員並びに関係先に配布した。

<図録>

制作部数：1,000部（うち当協会100部受理）

配 布 先：当協会会員並びに関係先



## \*所蔵資料貸付協力

(染織祭衣装)

### ◎NHK プロモーション主催「没後 400 年 古田織部展」への衣装貸付

没後 400 年を迎える武将茶人・古田織部の活躍した安土桃山時代の文化を陶芸・漆工・染織を交えながら茶の湯の世界の魅力を伝えるため、安土桃山時代衣装より 3 領を貸付した。

(近畿展)

展示期間 10 月 10 日 (土) ~11 月 23 日 (月・祝)

会 場 佐川美術館 (滋賀県守山市)

入場者数 23,293 名

### ◎京鹿の子絞振興協同組合主催「京鹿の子絞工芸展」への衣装貸付

『伝統産業の日』にちなみ、京ものフェスティバル 2016 で行われた展覧会において、室町時代・安土桃山時代衣装各 1 領を貸付した。

展示期間 平成 28 年 3 月 19 日 (土) ~21 日 (日・祝)

会 場 京都市勧業館 1 階

入場者数 6,691 名

## (2) 染織技術等継承事業

日本の染織技術を次代に継承していくために、染織に馴染みの薄い人たちにあらゆる方法でもって伝えることで認知と理解を深め、将来携わる人々を増やす目的で次の事業に取り組んだ。

### \*子ども向け染織技術啓発冊子の増刷と配布

きものをより身近な衣料として受け止めてもらうと共に、きものには様々な技術が使われていることをわかりやすく伝え染織技術の一端を知ってもらうことを目的に小冊子を制作し、子どもが初めてきものを着るシーンである十三まいり、七五三詣りに於いて次の通り配布した。

<配布先>

#### ◎十三まいり

日 時 4 月 4 日 (土)

配布場所 ご清遊の宿らんざん (嵐山)

配 布 先 京都織物卸商業組合並びに京都新聞主催の十三まいり

参詣者 187 名に配布

◎七五三詣り

日 時 11 月 14 日 (土)

配布場所 平安神宮

配 布 先 京都織物卸商業組合並びに京都新聞主催の七五三詣り

参詣者 261 名に配布



**\* 染織文化セミナーの開催**

◎「装飾芸術の頂点 琳派 400 年 —江戸時代の染織意匠—」

日 時 9 月 17 日 (木) 14:00～16:00

会 場 京都産業会館 5F コムスホール

講 師 立木 美江 氏 (日本画家)

内 容 斬新な意匠と装飾により後世に大きな影響を与えた尾形光琳にスポットをおき、江戸時代に一大ムーブメントがおこった装飾芸術・琳派について、琳派とはなにか・琳派観賞のポイント・琳派に影響を受けたきものの意匠について語るとともに当協会所蔵の江戸時代衣装 2 領並びに道具類を展示し、染織技術の啓発をはかった。

受 講 料 無 料

広 報 (会員・関係団体・美術館等) 当協会より案内送付

(一般) 9/1 京都新聞夕刊に広告掲載

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 44 名

◎「江戸時代女性のファッション事情～移りゆく流行～」

日 時 平成 28 年 3 月 7 日 (月) 14:00～16:00

会 場 京都産業会館 5F コムスホール

講 師 長崎 巖 氏 (共立女子大学教授)

内 容 江戸時代、身分の違いによる衣装の変化や友禅染のルーツについて語るとともに当協会所蔵の江戸時代衣装 2 領を展示し、染織技術の啓発

をはかった。

受講料 無 料

広 報 (会員・関係団体・美術館等) 当協会より案内送付  
(一般) 2/18 京都新聞夕刊に広告掲載

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 88 名

#### \*インターネットミニ染織講座の開催

当協会ウェブサイト内において、きものの歴史シリーズ②「奈良時代」動画を制作し、インターネット動画共有サービス『YouTube』にアップロードし相互リンクして当協会ウェブサイトの閲覧を促した。

◎きものの歴史シリーズ②「奈良時代」

更 新 日 10 月 6 日

### (3) 染織技術等継承に関わる助成事業

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、当協会助成規定に基づき次の事業への助成を行った。

◎KPA 京都プリント振興協会主催「メイキング・ワークショップ 2016」への共催

会 期 10 月 2 日 (金) ~ 4 日 (日) 10:00~18:00※最終日 17:00

会 場 京都府京都文化博物館別館 (中京区三条高倉)

制作テーマ めかす/粧

出 展 者 15 社 21 組

内 容 染色業に携わる職人の創造力、技術力の向上を図るため、制作の機会、発表の場を提供した。今回は「めかす/粧」をテーマに装飾性の高いプリントを訴求し、色・プリント技術での意匠表現に挑戦したプリント服地の提案を行った。当協会からは共催名義使用許可、助成金 50 万円の交付並びに京都染織文化協会理事長賞の下付を行った。

来場者数 1,110 名

#### ■会員事業

##### \*会員のための啓発事業

会員の加入メリットとして従来行っていた京都市美術館友の会の会員登録を今年度より中止し、会員の知識啓発のため京都市内で行われる主要な展覧会への招待を年 2 回

次の通り行った。

<招待展覧会>

- ・「琳派 京（みやこ）を彩る」（10/10～11/23 京都国立博物館）
- ・「モネ展 「印象、日の出」から「睡蓮」まで」（H28. 3/1～5/8 京都市美術館）

**\*京都ブレス事業**

伝統的な染織技術と先端技術を融合させてまったく新しい素材の開発と加工を行い、市場での反応を調査した後、その技術と情報を会員商社にフィードバックする目的で取り組んでいるが、今年度は開発したグラスファイバー、特殊撚糸シルク、ポリエステル融着糸に加工を施した生地を製品化し、下記展示会において発表して市場の反応を得た。（継続事業）

<開発素材と用途>

- ・シンセティック素材  
グラスファイバー（照明器具、バッグ、帽子）  
ポリエステル融着糸（照明器具、バッグ、帽子）
- ・シルク素材  
柞蚕糸特殊撚糸シルク（ウェディングドレス、フォーマルスーツ、ストール、紅梅織きもの）

◎京都ブレス制作生地発表会（会員向け）

日 時：11月24日（火）～25日（水）10:00～17:00（最終日 16:30）

会 場：京都産業会館 5F 研修室

◎第81回東京インターナショナルギフトショー春2016への出展

会 期：平成28年2月3日（水）～5日（金）10:00～18:00（最終日 17:00）

会 場：東京ビッグサイト全館（京都ブレスブース西3ホールアクティブデザイナークナー）

来場者：654名（うち、ギフトショー全体来場者 194,764名）

**\*会員助成事業**

歴史ある染織技術を継承し発展することを目的に、会員の企業活動に対する助成金拠出について助成規定に基づき募集を行ったが、今年度の申請は無かった。